

6 事務用機器等

番号	対策の名称																					
①	事務所機器の待機電力管理																					
内容	多くの事務所機器は、不使用時にも待機電力を消費しています（下表参照）。事務所機器が不要の時には電源を切って待機電力を削減します。 待機電力を削減するためにはコンセントを抜く必要がありますが、以下の写真のような市販されている節電型テーブルタップを使うと、事務所機器の電源を個別に入/切することができます。また、機器によっては省エネモード等の設定を行うこともできます。																					
	＜待機電力の例＞ <table><thead><tr><th>製品</th><th>消費電力 (W)</th><th>待機電力 (W)</th></tr></thead><tbody><tr><td>ノートパソコン</td><td>50～100</td><td>1.2</td></tr><tr><td>液晶モニター</td><td>20～60</td><td>1.0</td></tr><tr><td>インクジェットプリンタ</td><td>10～30</td><td>1.5</td></tr><tr><td>複合機</td><td>1,500～2,000</td><td>15.0</td></tr><tr><td>シュレッダ</td><td>300～600</td><td>0.0</td></tr><tr><td>温水洗浄便座</td><td>300～700</td><td>2.0</td></tr></tbody></table> 	製品	消費電力 (W)	待機電力 (W)	ノートパソコン	50～100	1.2	液晶モニター	20～60	1.0	インクジェットプリンタ	10～30	1.5	複合機	1,500～2,000	15.0	シュレッダ	300～600	0.0	温水洗浄便座	300～700	2.0
	製品	消費電力 (W)	待機電力 (W)																			
ノートパソコン	50～100	1.2																				
液晶モニター	20～60	1.0																				
インクジェットプリンタ	10～30	1.5																				
複合機	1,500～2,000	15.0																				
シュレッダ	300～600	0.0																				
温水洗浄便座	300～700	2.0																				
効果	＜ノートパソコンの電源を、土日に切った場合のシミュレーション（下記条件に基づいた場合の試算例）＞ 土日はノートパソコン及び液晶モニタの電源を切る。 ・ 燃料費削減効果 年間 6,684 円 ・ CO2 排出削減効果 年間 167.1kg-CO2 （試算条件） ・ 50 組のノートパソコン及び液晶モニタを、土日は電源を OFF にする。 各週末の金曜日 18 時～翌週月曜日 8 時（62 時間）について年 49 回実施する。 →電力削減効果 2.2W×62h/回×49 回/年×50 組＝334.2kWh/年 ・ 燃料費削減効果：エネルギー単価を電力 20 円/kWh として 334.2×20＝6,684 円/年 ・ CO2 排出削減効果：CO2 排出係数を電力 0.5kg-CO2/kWh として 334.2×0.5＝167.1kg-CO2/年																					
ポイント	・ 事務所機器によっては、夜間や長時間の離席時も待機電力を節電しましょう。																					